

## JP58100950U

**Publication number:** JP58100950U

**Publication date:** 1983-07-09

**Inventor:**

**Applicant:**

**Classification:**

- international: *B25D9/00; B02C1/00; B02C1/02; E01C23/12;  
E04G23/08; B25D9/00; B02C1/00; E01C23/00;  
E04G23/08; (IPC1-7): E04G23/08; B02C1/00;  
B25D9/00; E01C23/12*

- european:

**Application number:** JP19810193829U 19811229

**Priority number(s):** JP19810193829U 19811229

**Report a data error here**

Abstract not available for JP58100950U

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

⑪ Int. Cl.<sup>8</sup>  
E 04 G 23/08  
B 02 C 1/00  
B 25 D 9/00  
E 01 C 23/12

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和58年(1983)7月9日

7322—2E

7108—4D

7505—2D

8005—2D

審査請求 有

(全 2 頁)

## ⑭ 作業用コンクリート破碎装置

東京都大田区仲池上 2—8—13

⑮ 実 願 昭56—193829

⑯ 出 願 人 株式会社ストーン・インポート

⑰ 出 願 昭56(1981)12月29日

東京都大田区仲池上 2—8—13

⑱ 考 案 者 神沢真明

⑲ 代 理 人 弁理士 武田賢市

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

作業機のアーム先端にブラケット 2 を介して取付けられる内部上方にシリンダ 6 の尾端を連結したボデー 3 と、該ボデー 3 の前面下端に突設された固定下刃 4 と、該固定下刃 4 の基部に軸着されて固定下刃 4 との間でコンクリートを噛砕く可動上刃 5 とからなり、固定下刃 4 は縦横の交差する刃により形成される複数個の穴 13 を有すると共に、可動上刃 5 は下面に固定下刃 4 の穴 13 に対応する複数個の段差のある歯 15、16 が突設されていて先端部にボデー 3 におけるシリンダ 6 のピストンロッド 17 の先端が連結されている作業

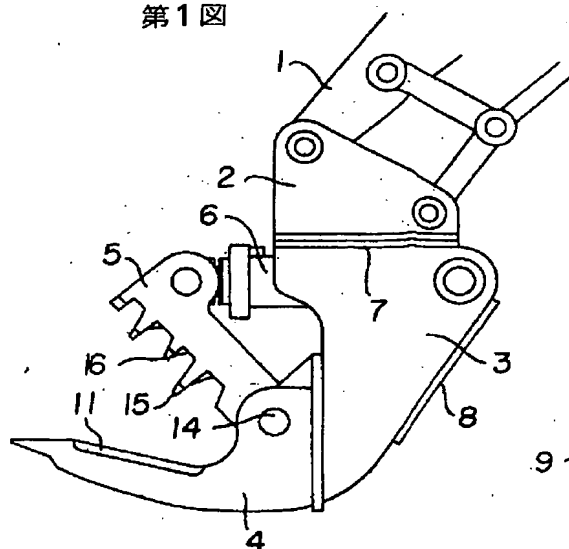
用コンクリート破碎装置。

図面の簡単な説明

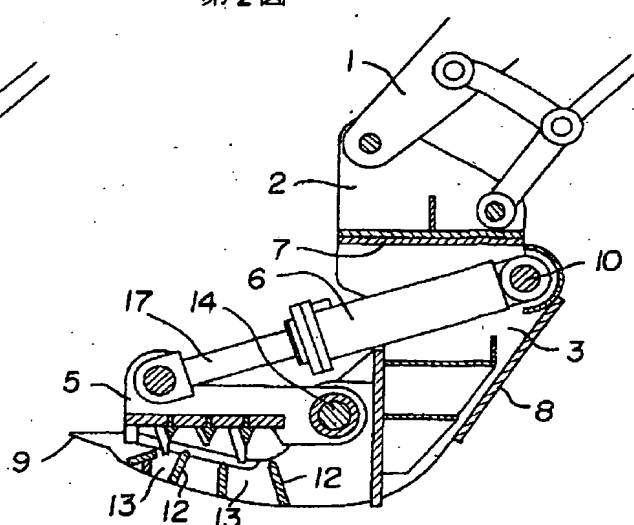
第 1 図は本案に係るコンクリート破碎装置の実施例を示す可動上刃を開いた状態の側面図、第 2 図は刃を閉じた状態における側面の断面図、第 3 図は可動上刃の斜視図、第 4 図は固定下刃の斜視図、第 5 図は使用状態を示す側面図である。

図において、2:ブラケット、3:ボデー、4:固定下刃、5:可動上刃、6:油圧シリンダ、7、8:ブラケット連結部、13:固定下刃穴、15、16:可動上刃の歯、17:ピストンロッド。

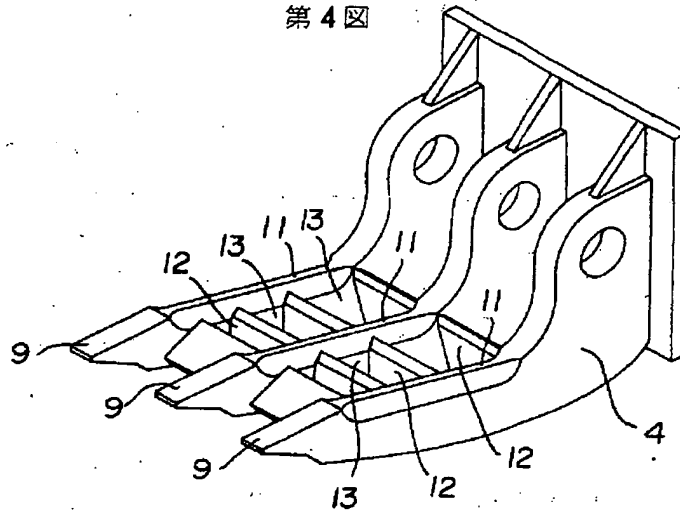
第 1 図



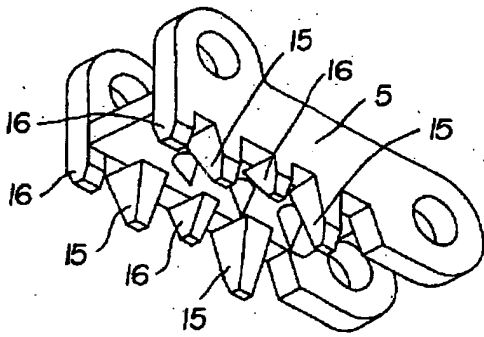
第 2 図



第4図



第3図



第5図

